

前橋東照宮について

前橋東照宮は、江戸初期に大名松平直基公が幕府より最初に賜った領地、越前勝山（福井県）にて寛永元（1624）年に創建した神社です。

江戸時代中期に松平家が姫路城より前橋城に入城しましたが、大洪水の被害を受け、松平家は一時武州川越に居住しており、現在の社殿はその時に川越で造営されました。江戸時代末期に前橋城が洪水の被害より復旧すると、松平家は前橋の地へ戻ることとなります。これに伴い、川越で築かれた社殿は一度解体され、現在の地に運ばれます。

その後、明治維新を経て、明治4年に再築され、現在に至るまで前橋の安全と平和を見守り続けています。



前橋東照宮のご本殿に鎮まる長壁様

江戸時代、姫路から前橋へ移った松平朝矩は、姫路城の守護神・長壁様（刑部様）を伴って来ましたが、天守に祀らず祠に留めたことで、長壁様は怒りを示し、利根川の氾濫などを引き起こしました。この氾濫は明治時代までに幾度となく起こり、長壁様は東照宮の本殿にお遷しされたのです。すると、それを機に利根川は氾濫することもなくなり、前橋の生糸産業は益々栄えました。さらに、太平洋戦争末期、前橋空襲により前橋の街がほとんど焦土と化すなか、長壁様の鎮まる東照宮の社殿だけが火災を免れることができたといえます。

終戦後、新憲法により、神社が経済的に困窮する時期がありましたが、長壁様のご利益の一つ「縁結び」のお蔭で、東照宮で結婚式を挙げる方が増え、神前結婚式のブームを巻き起こしたのです。

OMIYAGE INFORMATION

東照宮のお守り

日本で最も尊いとされている伊勢神宮で奉製されている神札を「神宮大麻」と言います。日本の総氏神様と言われる天照大神様の神札と前橋東照宮の神札を合わせてお祀りいただき、家内の安全や日々のご多幸をご祈念ください。



YUMMY's TOPIC!



大手町カフェ

前橋東照宮内にある和のたたずまいが美しいカフェ。ドリンクからフードまで多種多様なメニューを楽しめます。